



2018年10月29日

各 位

会 社 名 エスアールジータカミヤ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 高 宮 一 雅  
(コード番号2445 東証第一部)  
問合せ先 取締役兼常務執行役員  
経営管理本部長 安 田 秀 樹  
(TEL. 06-6375-3918)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年5月9日に公表いたしました、平成31年3月期第2四半期（累計）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

平成31年3月期 第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	19,500	900	780	393	9.17
今回修正予想（B）	20,700	1,050	1,080	670	15.64
増減額（B－A）	1,200	150	300	277	
増減率（％）	6.2%	16.7%	38.5%	70.5%	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成30年3月期第2四半期）	17,875	804	840	608	14.22

#### 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、販売事業において、次世代足場「Iqシステム」の新規顧客からの受注が増加し、既存顧客への継続販売も相まって好調に推移いたしました。レンタル事業においても、建築用仮設機材の稼働率が高水準で推移し、特に「Iqシステム」は過去最高の稼働率となりました。着工が遅れておりました土木・橋梁工事向けの仮設機材も順調に出荷しております。また、販売費及び一般管理費が当初計画より抑えられたことにより、売上高、営業利益は当初の予想を上回る見込みとなりました。

経常利益は、為替差益などの営業外収益の計上により、当初の予想を上回る見込みとなりました。

以上の理由により、当第2四半期累計期間業績につきまして、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点において変更はございませんが、今後の業績の推移に応じて修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上